

2010MHC 登山講習 残雪の槍ヶ岳(3180m)登山 報告

6月12日 AM4:00 夜明け前、3台の車に乗り合わせて松本を出発。AM5:00 沢渡でタクシーに乗り換え上高地へ向う。AM6:00 バスターミナル広場で準備を整え、総勢15名となって出発。天候は快晴、朝陽に輝く残雪の穂高岳を左手に仰ぎながら、横尾までの林道を進む。



満開のズミの花と明神



横尾までの林道を進む



満開の山桜に会う



咲き競うニリンソウ

新緑萌える道沿いには、ニリンソウ、サンカヨウ、ツバメオモト、薄紅のヤマザクラが咲く。横尾からは梓川溪流沿いに進み、登り40分程の河原で槍の穂先を望み、歓声をあげる。AM11:00 林の中の槍沢ロッジで早めの昼食を摂る。大休止後、ロッジから登り20分程の赤沢岩小屋手前から雪渓が残り、ババ平上部から槍沢溪流を埋める残雪を踏む。荒れた雪崩跡の小山を登降し、PM1:35 大曲に到着する。

ここからアイゼンを装着し、槍沢の雪の大斜面を登り続け、PM4:15 ようやくグリーンバンドに登り出る。既に陽が翳り、前方に斜陽を浴びた槍ヶ岳の岩峰が、孤高のごとく聳え立っている。一步、一步雪原を登り続け、PM5:45 殺生ヒュッテに逃げ込むように到着。泊する。



槍沢の雪の大斜面を登る



斜陽を浴びた槍ヶ岳の岩峰が、孤高のごとく聳え立つ



翌朝滑落停止の練習を行う

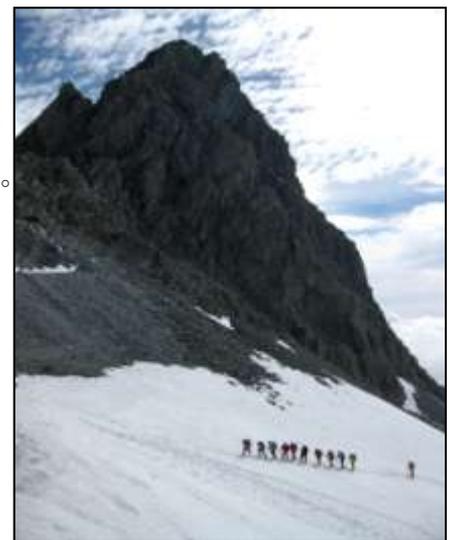
翌13日 AM6:30 出発。青空を望むが、雲の流れに天候の変化の兆しが見られる。殺生ヒュッテ上部の東鎌尾根の30度の雪斜面で滑落停止の練習を行い、ピッケルの使い方を訓練する。そして、そのまま雪と岩の東鎌尾根を登り続け、AM8:00 槍ヶ岳肩に到着。軽荷で槍ヶ岳穂先の100mの岩壁に挑戦する。



雪と岩の東鎌尾根を登る



槍ヶ岳山頂に見事登頂



槍ヶ岳山頂を目指して登る

AM8:45、全員見事に登頂。皆笑顔で握手を交わす。登攀中、徐々に雲が沸き上がり、穂高岳連峰が雲間に隠れていく。頂に登ったのが何十年ぶりの人、7回目だよと回数を数える人、槍ヶ岳にはいろいろな想いが巡る。山頂に20分程憩いの後、岩壁を慎重に降りる。AM9:50 槍ヶ岳山荘に別れを告げ、下山する。雪の急斜面を、シリセードで一気に滑り降りてPM12:00 槍沢ロッジに到着。ロッジ特製ラーメンで腹ごしらえをして、PM2:10 横尾、PM5:15 上高地へ無事下山する。PM5:45 沢渡。PM6:45 松本へ帰還、解散とした。